

神奈川県立あおば支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 神奈川県立あおば支援学校 第3回学校運営協議会		
開催日時	令和7年10月17日(金) 9:30~11:30		
開催場所	あおば支援学校 会議室		
出席者	学校運営協議会委員9名(4名欠席)、本校職員:事務局6名		
次回開催予定日	令和7年11月26日(水)を予定		
問合せ先	神奈川県立あおば支援学校 副校長 鈴木 智子 電話 045-978-1161 FAX 045-978-1160		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>○学校長挨拶</p> <p>8月~11月の学校の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月2日熟議が盛大に和気あいあいと行われた。良い熟議となった。これからの中学校運営に生かしていきたい。 総合防災訓練に、本校小学部児童2名のご家族と一緒に参加した。 中3修学旅行は2日間に渡りディズニーランドへ。活動の様子を写真で紹介。 あおばフェスタが10/30、11/1の2日間で実施される。 マスキングテープ(三菱ケミカルのノベルティーグッズとして)の作成に協力した。タウンニュースに掲載された。 絵本プロジェクト(三菱ケミカル、ユポ、マナブデザイン、横浜美大、協働)が進んでいる。 ソライズから寄付していただいた3Dプリンターで教材、教具を作成し活用が始まっている。 <p>○学校運営協議会</p> <p><第2回学校運営協議会・職員研修についての総括></p> <p>熟議を振り返るために廊下の掲示物(熟議のまとめ)を確認する。改めての、気づき等があればお話を。</p> <p>○子どもの学びの保障について・・・コーディネーターはいつまでいてくれるのか?いなくなることがあるのか?</p> <p>⇒学校運営協議会がある限り、なくならない。(予算規模が変わることはあるかもしれないが)</p> <p>⇒仕組みは残るが、やり手がいるかは心配。</p> <p>⇒次の人に目星を付けて、働きかけている。次年度からは、少しずつ来てもらおうと思っている。</p> <p>⇒学校は、児童生徒、教員の新陳代謝がある。コーディネーターも同じ。ミッションに立ち返りながら取り組んでいくことに変わりはない。コミスクの仕組みの周知が足りないのかもしれない。</p> <p>⇒学校内での発信が足りないのかもしれない。教員の入れ替わりがあるので、その都度発信が必要。</p> <p>○防災のことで、実際に即した体験的な学習が不足しているかも。総合防災訓練で、起震車により能登の搖れを体験した。地震の怖さを体験できたことが良かった。</p> <p>○もっとつながる方法を模索して行きたい。カリキュラムボードを作ったのはよかったです。</p> <p>○卒業後の生活に関して、皆さん同じような課題意識を持っている。各グループで話</p>		

し合った内容を、同じフォーマットに落とし込めるとわかりやすいと感じた。ロードマップ的なものがあっても良いかも知れない。

○災害はいつ起こるかわからない。明日起きたかもしれない。急いで対応すべきことは防災に関することだと思う。特別支援学校では教員の動きが重要になってくると思う。グリーンでは、利用者がいない中、利用者が帰宅できないことを想定した職員だけでの夜間訓練を行っている。

⇒学校と施設の情報交換、共有が必要かもしれない。

○学びの保障について、もう少し焦点をしぼった話し合いができると良いかも知れないと思った。

○防災に関することが気になるところである。あおば支援学校の備蓄物品は、早めに2階に移動できるとよいと思う。鉄小で不足しているのは、簡易トイレだと感じている。水害のことを考えると、ポリマー式の簡易トイレの数を増やせると良いと考えている。

○災害時にあおば支援に避難してくる人がいることは想定されるか？

⇒防災拠点には指定されていないが、避難してくる人はいると思う。その際に、どのように対応するかは予め考えておく必要があると思う。

⇒登下校時に地震が起きた場合、近隣住民の力が必要になると思うが、近隣住民に対して何か発信はされているか？

⇒通学路、バスの運行経路等、地域のお店等に働きかけが必要になる。

⇒区役所との協力も必要。

○防災に関して、災害発生時の役割分担を、教員は知らないと感じた。地震対応の際は区が運営し、風水害は地域が運営する。時間帯に分けたタイムラインが必要になってくると思う。区役所にもマニュアルはあるが、実際に起こったことを想定したときに、マニュアルは不十分な点もあるので見直しが必要。

⇒物品の整備等も重要で、事務室との連携が必要。防災のことについては、次回の学校運営協議会でもやりましょう。

<令和8年度以降のスポーツフェスタについて>

資料「R8年度以降のスポーツフェスタについて」説明。

○連携支援チームの先生の業務になるのか？

⇒チーム員は業務となる。その他の教員はボランティアとして参加できると良いと考えている。

○チーム員の先生方の負担が大きくなるのでは？

⇒役割を、学校運営協議会地域学校協働部会委員にも担ってもらえると良いと考えている。

○学校主体で「協働で行う」という感じが薄れるのでは？

⇒チーム員の中では「今までやってきたことを生かそう」という話になっており、チームと地域学校協働部会と協議内容が行き来する形で進められると良いと考えている。

○ここで大きな決断をし、「地域移行する」ということを踏み出した方が良いと考える。主体は地域に移し、小さく始めると良い。移行期なので、相談しながら進められると良い。次年度からは、学校運営協議会が教員の働き方をチェックする機能を備えることになるということも考えると、「学校の仕事」から離した方が良いのではないか。

○スポーツフェスタは「継続していかなければならないもの」なのかどうか、日にちと時間とルールを決め、小さくスタートすれば地域主体でやっていけると思う。

○主体になる人がいないと、スタートが難しいのでは？おりおりクラブも検討が大変だったと聞いた。最初は教員の力も入れながらスタートするのがスムーズではない

	<p>か？</p> <p>⇒最初は「あおばまる」が主体となるのが良いかもしない。教員も入ってもらいながら一緒に相談を進められると良い。</p> <p>⇒おりおりクラブのスタートはなかなかまとまらなかつたが、徐々にまとまってきた。</p> <p>⇒来年の実施に向けては、教員の力を借りた方が良いのでは？</p> <p>○「小さく始めればいい」というのは、その通りだと思う。まずは、小さくスタートするところから進めていけると良いと思う。</p> <p>○以前、大きなイベントが雨で体育館のみでの実施になつたが、工夫しながら上手くいた。そのような事例もあるので、小さく始める考えると良いと思う。</p> <p>⇒次回の学校運営協議会後から検討を始めて行く。今までの規模を引き継いでいくという意識があつたので、小さく始める考え方等、今日の話の内容をチームに伝える。</p> <h3>○学校評価部会</h3> <p><学校関係者評価></p> <p>資料「学校評価報告書」説明</p> <p>○防災備品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスコンロが2台しかない。発電機が欲しいと思っている。 <p>⇒地下の発電機についてはどうか。</p> <p>⇒1日しか持たないので、プラスで設備があるとよい。</p> <p>⇒横浜は、ソーラーを屋上につけている。蓄電もできるようになっている。県に働きかけてみてはどうか？</p> <p>○地域のコンテンツの位置づけ（あおばまる授業）について</p> <p>⇒先生方からこんな授業をという提案をしていただき、もう少しつつながりたい。</p> <p>⇒子どもたちにどのように反映されたか知りたい。そして改善していきたい。</p> <p>⇒もう少し学習に位置づけて行きたい。（カリキュラムボード）</p> <p>⇒熟議の切れ目ない～にもう少し関連性をもってやりたい。</p> <p>○ICTの活用について</p> <p>⇒iPadの導入が小学部児童は待ち遠しい。</p> <p>⇒AIのチーターがいるらしい。活用できると良い。教員だけでは難しい。ICTをどう話的的に使いこなすか。保護者を含めて研修会を成田先生にお願いできなかいか。</p> <p>⇒近隣の学校の先生を呼んでも良いのでは？</p> <p>⇒メディアリテラリーも大切。電車の中での緊急の対応など。</p> <p>⇒子どもの方が使いこなしている。家でもきちんと把握が必要。利用の方法が大切だが、たとえば、翻訳機能などは使い方がわかっている子でないと、生かされない。</p> <p>⇒ICTについては、いろいろなステージの研修が必要。</p> <h3>○連絡事項</h3> <p>次回の予定等について</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和7年度 第2回学校運営協議会・職員研修まとめ</p> <p>資料2 令和8年度以降のスポーツフェスタについて</p> <p>資料3 令和7年度 学校評価報告書（中間評価）</p>